

平成28年度第2次豊川市役所地球温暖化対策実行計画 進捗状況の結果（報告） 平成29年11月

環境部環境課

本市では、豊川市環境基本計画に基づき、事業者の立場から平成23年2月に豊川市役所地球温暖化対策実行計画を策定し、環境負荷の低減と地球温暖化防止に向けて、温室効果ガスの総排出量の削減に取り組んできました。

第2次豊川市役所地球温暖化対策実行計画は、旧計画の後継計画として平成27年3月に策定しました。計画の期間は平成27年度から平成32年度までの6年間で、温室効果ガス総排出量の削減目標は平成25年度を基準年度とし、毎年度1%ずつ削減していくことを目標としています。

さらに、個々の職員が率先して取り組むべき環境行動を「豊川市役所エコ・アクション」と位置づけ、職員研修等を積極的に実施し、環境モラルの向上による地球温暖化防止に取り組ましました。

【数値目標について】

温室効果ガスの総排出量に関する目標及び、具体的取り組みに関する目標については、平成26年度に改修工事が完了し、それにより電気使用量が著しく増大した、地域文化広場「桜ヶ丘ミュージアム」を一切含めずに算出しており、平成27年度の使用量が確定したら基準値に含むとしてきました。

平成28年度、「桜ヶ丘ミュージアム」の平成27年度電気使用量等実績が把握できたため、基準年度（平成25年度）の温室効果ガス総排出量（t-CO₂）及び、電気使用量（kWh）をはじめ7項目の具体的取り組みに関する目標に、平成27年度「桜ヶ丘ミュージアム」実績を加えたものを、参考数値目標として計上しています。

<数値目標>

●温室効果ガスの総排出量に関する目標

※温室効果ガス：二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、代替フロン等7種類

(このうち本市での削減対象ガスは二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素とする)

項目	基準年度 (平成25年度)	目標年度 (平成32年度)	増減率
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	34,431	32,365	-6%

●具体的取り組みに関する目標

項目	基準年度 (平成25年度)	目標年度 (平成32年度)	増減率
電気使用量 (kWh)	41,521,800	39,030,492	-6%
公用車燃料使用量 (L)	225,489	211,959	-6%
公用車走行距離 (km)	1,646,258	1,547,482	-6%
燃料(自動車を除く)使用量 (L) ガソリン・灯油・軽油・A重油	1,049,471	986,502	-6%
LPG・都市ガス (m ³)	1,533,479	1,441,470	-6%
水道使用量 (m ³)	544,696	512,014	-6%
用紙購入量 (A4換算 枚)	86,741	81,536	-6%

なお、公共施設の状況(新築や増築等により著しく電気使用量などの増加)や技術の進捗等を踏まえ、必要に応じて基準値や目標値の見直しを行うこととします。

1 平成28年度の実績結果

温室効果ガスの総排出量は基準年度(平成25年度)比で0.1%減少にとどまり、目標の達成ができませんでした。(P. 4「温室効果ガスの総排出量」参照)。

温室効果ガスの排出原因の55.0%を占める電気使用量が4.8%削減したのを始め、公用車走行距離を除く各項目で使用量が削減されましたが、清掃工場の焼却量や温室効果ガスの排出原因の24.0%を占める石炭コークス使用量が増加したのが、目標の達成ができない要因でした。(P. 4「温室効果ガス排出量の項目別割合」及びP. 5「項目別エネルギー使用量」参照)。

施設別に内訳を見ると、事業所系施設では全項目で目標を達成しましたが、事務所系施設及び市民利用系施設では一部の項目で目標未達成となっています(P. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照)。

〔電気使用量〕

温室効果ガス排出要因として最も大きい割合を占める電気使用量は、夏季及び冬季における節電強化の成果もあり、4.8%（桜ヶ丘ミュージアムの実績を含めた場合：4.1%）減少しました。（P. 5「項目別エネルギー使用量」及びP. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照）。

〔公用車燃料使用量・走行距離〕

燃料使用量は2.8%（2.8%）減少しましたが、走行距離は1.5%（1.5%）増加しており、目標未達成となっています。施設別では、事業所系施設では目標を達成しましたが、市民利用系施設では燃料使用量が56.7%（54.1%）増加、走行距離が38.7%（37.3%）増加し、目標未達成となっています（P. 5「項目別エネルギー使用量」及びP. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照）。

〔燃料・ガス使用量〕

燃料（自動車を除く）使用量は13.4%減少、LPG・都市ガスの使用量は4.3%減少し、目標を達成しました。施設別では、事業所系施設は目標を達成しましたが、事務所系施設では燃料・ガスともに使用量が増加し、市民利用系施設でもガスの使用量が増加しており、目標未達成となっています（P. 5「項目別エネルギー使用量」及びP. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照）。

〔水道使用量〕

水道使用量は12.5%（12.4%）減少し、目標を達成しました。施設別では、事業所系施設は33.1%減少して目標を達成しましたが、事務所系施設及び市民利用系施設ではわずかな減少にとどまり、目標未達成となっています。（P. 5「項目別エネルギー使用量」及びP. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照）。

〔用紙購入量〕

用紙購入量は58.9%増加しています。（P. 5「項目別エネルギー使用量」及びP. 6「施設別エネルギー使用量基準年度比」参照）。

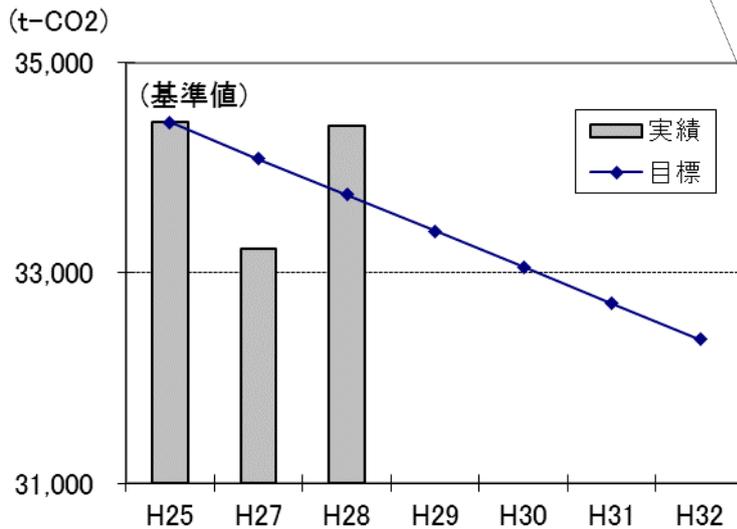
〔焼却量・石炭コークス使用量〕

焼却量及び、石炭コークス使用量は、清掃工場のみであるため、〈数値目標〉の「温室効果ガス総排出量」には含まれていますが、「●具体的取り組みに関する目標」は設定していません。

●温室効果ガスの総排出量

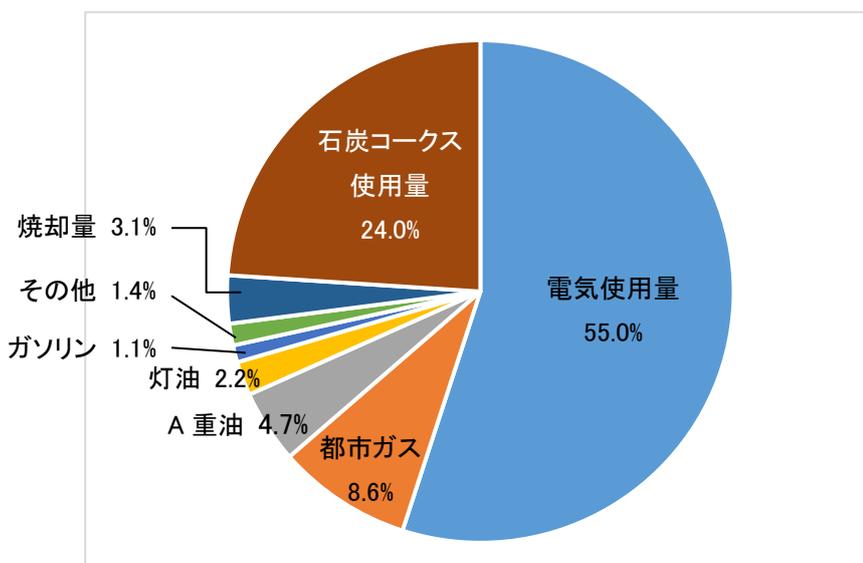
項目	基準年度 (平成25年度)	平成28年度	基準年度比
温室効果ガス総排出量 (t-CO ₂)	34,431 ※(34,754)	34,397 ※(34,859)	△0.1% ※(0.3%)

※ 下段 () 内 桜ヶ丘ミュージアムの実績を含めた数値



※グラフは桜ヶ丘ミュージアムの実績を除いた数値で作成

●温室効果ガス排出量の項目別割合 (平成28年度)



※グラフは桜ヶ丘ミュージアムの実績を除いた数値で作成

※焼却量、石炭コークス使用量は清掃工場のみ

項目	温室効果ガス 排出量 (t-CO ₂)
電気使用量	18,910 ※(19,370)
A重油	1,613 ※(1,613)
都市ガス	2,961 ※(2,961)
ガソリン	378 ※(379)
灯油	751 ※(751)
その他	479 ※(479)
焼却量	1,062
石炭コークス	8,242

●項目別エネルギー使用量

項目	基準年度 (平成25年度)	平成28年度	基準年度比
電気使用量 (kWh)	41,521,800 ※(42,270,416)	39,546,796 ※(40,517,334)	△4.8% ※(△4.1%)
公用車燃料使用量 (L)	225,489 ※(226,070)	219,200 ※(219,753)	△2.8% ※(△2.8%)
公用車走行距離 (km)	1,646,258 ※(1,650,817)	1,670,355 ※(1,675,441)	1.5% ※(1.5%)
燃料(自動車を除く)使用量(L) ガソリン・灯油・軽油・A重油	1,049,471 ※()	909,137 ※()	△13.4% ※()
LPG・都市ガス (m ³)	1,533,479 ※()	1,466,886 ※()	△4.3% ※()
水道使用量 (m ³)	544,696 ※(545,973)	476,850 ※(478,308)	△12.5% ※(△12.4%)
用紙購入量 (A4換算 枚)	86,741	137,852	58.9%
焼却量 (t)	58,235	60,396	3.7%
石炭コークス使用量 (kg)	2,243,515	2,600,064	15.9%

※ 下段()内 桜ヶ丘ミュージアムの実績を含めた数値

※色凡例

目標達成	目標未達成
------	-------

●施設別エネルギー使用量基準年度比

項目	基準年度比	事務所系施設	事業所系施設	市民利用系施設
電気使用量 (kWh)	△4.8% ※(△4.1%)	△5.1%	△4.9%	△4.5% ※(△2.6%)
公用車燃料使用量 (L)	△2.8% ※(△2.8%)	△8.6%	△3.9%	56.7% ※(54.1%)
公用車走行距離 (km)	1.5% ※(1.5%)	1.6%	△5.9%	38.7% ※(37.3%)
燃料(自動車を除く)使用量(L) ガソリン・灯油・軽油・A重油	△13.4% ※(〃)	2.1%	△17.1%	△5.9% ※(〃)
LPG・都市ガス (m ³)	△4.3% ※(〃)	2.0%	△7.1%	1.0% ※(〃)
水道使用量 (m ³)	△12.5% ※(△12.4%)	△0.3%	△33.1%	△0.9% ※(△0.9%)
用紙購入量 (A4換算 枚)	58.9%	施設別の内訳は、把握が困難なため未算		
焼却量 (t)	3.7%	清掃工場のみ		
石炭コークス使用量 (kg)	15.9%	清掃工場のみ		

※ 下段 () 内 桜ヶ丘ミュージアムの実績を含めた数値

※色凡例

目標達成	目標未達成
------	-------

2 「エコ・アクション」の取組状況

全職員が、チェックシートにより「エコ・アクション」の取組状況を確認し、各職場の実行委員が評価を取りまとめました。「個人のエコ・アクション」15項目と、「職場のエコ・アクション」5項目の結果は、下記のとおりです。

基準年度に比べ、ポイント合計は2.3ポイント上昇しており、「⑨電気ポットの原則使用禁止」以外の項目において基準年度以上のポイントとなっています。各課評価結果については、平成28年度下半期において全課が「A」評価となりました。引き続き、全課で「A」評価になるよう、取り組みをお願いします。

●各課採点集計表

項目		25年度	28年度			
		年平均	年平均	上半期	下半期	
節水・節電	個人 のエコ・ アクション	①不要な照明の消灯	4.7	4.8	4.8	4.8
		②OA機器の節電	4.4	4.6	4.6	4.6
		③退庁時などの待機電力の削減	4.7	4.8	4.8	4.8
		④クールビズ・ウォームビズの実践	4.9	4.9	4.9	4.9
		⑤階段の積極的な使用	4.9	4.9	4.9	4.9
		⑥時間外勤務の縮減	4.3	4.5	4.5	4.5
		⑦マイポットの持参	4.6	4.8	4.8	4.8
		⑧手洗い・トイレ等での節水の励行	4.8	4.9	4.8	4.9
	職場	⑨電気ポットの原則使用禁止	4.8	4.7	4.6	4.8
		⑩空調の温度管理	4.5	4.7	4.7	4.8
燃料節約	個人	⑪エコドライブの実施	4.5	4.6	4.6	4.7
		⑫近距離の公用自転車、徒歩や相乗り実施	4.4	4.5	4.4	4.5
ごみ減量	個人	⑬両面印刷・「2in1」機能の活用	4.2	4.5	4.5	4.6
		⑭必要部数だけの印刷	4.3	4.5	4.5	4.6
		⑮庁内LAN・Eメールの活用	4.6	4.8	4.7	4.8
		⑯使用済み用紙の裏面利用	4.2	4.3	4.2	4.4
		⑰使用済み封筒の再利用	4.7	4.7	4.7	4.7
	職場	⑱ごみ箱の1か所設置	4.5	4.6	4.6	4.6
		⑲雑古紙・缶等の分別徹底	4.9	4.9	4.9	4.9
		⑳再生利用品の優先購入	4.6	4.8	4.7	4.8
ポイント合計		91.5	93.8	93.2	94.4	

<採点基準>

点数	内容
5	確実に実行している。(100%)
4	ほぼ実行している。(80%)
3	だいたい実行している。(50%)
2	あまり実行していない。(50%未達成)
1	実行していない。
－	該当しない。

●各課の評価結果

評価点	25年度上半期		25年度下半期		28年度上半期		28年度下半期	
	A	57課	100.0%	55課	96.5%	57課	98.3%	58課
B	0課	0.0%	2課	3.5%	0課	0.0%	0課	0.0%
C	0課	0.0%	0課	0.0%	1課	1.7%	0課	0.0%

<採点基準>

評価点	評価基準
A	該当するすべての項目が3点以上で4点以上の項目が8以上ある場合
B	A又はC以外の場合
C	2点以下の項目が1つでもある場合

3 今後の取り組み

本市では、「第2次豊川市役所地球温暖化対策実行計画」に基づき、環境負荷の低減と地球温暖化防止に向けて、引き続き取り組んでいきます。目標として、平成25年度を基準年度とし、平成27年度から平成32年度までの6年間で温室効果ガスを毎年度1%削減することとしています。具体的な取組内容は、「第2次豊川市役所地球温暖化対策実行計画」に記載してあります。